

受付印	家事 <b>審判</b> 申立書 事件名 ( <b>財産分与</b> ) <b>調停</b>
収入印紙 円 予納郵便切手 円 予納登記印紙 円	この欄に収入印紙をはる。 1件について甲類審判 800円分 乙類審判 1,200円分 調停 1,200円分 印紙 (はった印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号 平成 年 (家 ) 第 号
-----	----------------------

○ ○ 家庭裁判所 御中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 [又は法定代 理人など の署名押印 又は記名押印]	乙川 春子 印
-----------------------------------	---	---------

添付書類	
------	--

申立人	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道府県
	住所	〒 ○○○ - ○○○○ 電話 ○○○ (○○○)○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号 ( 方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) ( 方)
	フリガナ氏名	オツカワハルコ 乙川 春子 大正昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成
	職業	会社員
※ 相手方	本籍	(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。) 都道府県
	住所	〒 ○○○ - ○○○○ 電話 ○○○ (○○○)○○○○ ○○県○○市○○町○丁目○番○号 ( 方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) ( 方)
	フリガナ氏名	コウノ イチロウ 甲野 一郎 大正昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生 平成
	職業	会社員

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、申立人、相手方、法定代理人、事件本人又は利害関係人の区別を記入してください。

## 申 立 て の 趣 旨

相手方は申立人に対し、財産分与として金〇〇〇万円を支払うとの調停を求めます。

## 申 立 て の 実 情

- 1 申立人と相手方は、平成〇年〇月〇日婚姻し、一男二女をもうけましたが、相手方の異性関係が原因で、夫婦関係が破綻し、平成〇年〇月〇日未成年者らの親権者を申立人と定めて協議離婚しました。
2. 相手方は、〇〇会社に勤務し約〇〇〇万円の年収を得ており、また別紙の財産目録記載の不動産を所有しています。
3. 申立人は、婚姻当時勤務していた会社に平成〇年〇月〇日まで勤務し、その後、平成〇年〇月から現在に至るまで、パートタイマーや正社員として勤務しました。
4. 申立人と相手方が婚姻した当初は、資産というべきものはありませんでしたが、申立人と相手方が協力して蓄えた資産によって、前記不動産を購入し、別紙の財産目録記載の預金をしました。
5. このように、申立人の稼働及び家事労働による寄与によって、相手方は前記不動産を取得し、預金をしたのですから、財産分与として不動産の時価の2分の1に該当する金員と預金の2分の1の金員の支払を相手方に求めましたが、相手方は話し合いに応じようとしませんので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

(注) 太枠の中だけ記入してください。